

子口バキッズひろば 金曜日グループ 年長クラス 支援プログラム

2月

テーマ・衣服

法人理念	<ul style="list-style-type: none"> ✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。 						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週月曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	<p>テーマ「衣服」を通して言葉の発達を促す。 様々な衣服を着ることで役になりきってあそび、ごっこあそびを楽しみながら友だちとの応答的な会話を楽しんでいきます。また、「暖かい」「寒い」を考えながら季節に合わせた衣服を考えます。 ちょうどよ結びをしたり、背中のファスナーをとめる、毛糸を使った製作を行い手先を使った活動をします。</p>						

項目	支援内容							
本人支援	健康・生活	上着、ジャケットを一人で着る 上着の向きや上下を自分で確認しながら一人で着られるようになる。 服のボタン、ファスナーをとめる 制服のボタンやファスナー、靴ひものちょうどよ結びなどを練習する						
	運動・感覚	様々な服を着ることで目に見えない体の部位も意識する。（背中・足裏・お尻など） 上着やベスト、靴下やズボンなどを目に見えない部位を意識しながら着る。 手先を使う活動を行う 手編みのマフラーなど、毛糸を使った製作を行う。						
	認知・行動	職種と衣服の関係性を知る お医者さんや土木作業員、消防士など、様々な職種の衣服を見て何の職業かが分かり、それぞれどのような小物を身につけているか考える。 季節に合わせた衣服を考える 様々な衣服から「暖かい日=夏」または「寒い日=冬」どちらに分類されるかを考える。また、どのような違いがあり、他にはどのような衣服があるのか、季節に合った衣服を考える。						
	言語 コミュニケーション	ごっこあそびを通して応答的な言葉のやり取りを行う 様々な衣装や衣服を着てなりきり、それに合わせた言葉のやり取りを行う。 1文字1音を理解する リズムうちを行い、身体を使いながら1文字1音を理解する。						
	人間関係 社会性	活動の参加の仕方など自分で選択し決める 活動に参加しない場合に「座って見る」「先生と一緒にする」を自分で選んだり、負けた時に「シールを貼る」「もう一度する」など自分でどうするかを選択して決め、担任に伝える。						
歌・絵本など		歌 北風小僧の寒太郎 鬼のパンツ 絵本 ひきだし どうすればいいのかな						
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)		地域の洋服屋見学						
移行支援								
家族支援		写真公開 2月上旬公開 児童発達支援事業所における自己評価 配布 モニタリング 個別支援計画						
職員の質の向上		・小児高次脳機能障がいについて ・虐待、身体拘束の適正化のための研修 ・性暴力虐待研修 ・あそまな ホンモノ体験、問い合わせ「プロジェクト活動」						
主な行事等		洋服屋見学 ファッションショー						

作成日 2月 2日